

# ゆいまある



理事長 八幡茂子 絵:みのむし

## ゆいまある短信

ゆいまある南沢テイルームに移動販売車がやってくる

コロナ禍で外出をする事が難しくなってしまう、何か楽しめる事はないかと考え、移動販売に目を付けました。現在ゆいまある南沢には月に一度、パン屋さんと団子屋さんに来てくれています。

品揃えもお店並みで、敷地内で安全に買い物を楽しむ事がで



き、利用者さんだけではなく、地域の方やスタッフにも楽しんでもらえるイベントになっています。皆さんも是非いらしてください！

### 献立委員会（食事部）

食事部ではゆいまある弁当の献立等を検討する、調理員・栄養士・事務の5名で構成される委員会を11月に立ち上げました。

毎月一回開催される献立委員会では、季節や行事にちなんだ特別メニューの検討をはじめ、各献立の組み合わせや作業手順等を見直してより効率的に美味しいお弁当が作れるよう、検討をすすめています。これまでも月に一度の食事部のミーティングは行ってきましたが、職種を超えて集まり議論することで、通常業務ではなかなかできない意見交流が図れる貴重な時間となっております。



### 年頭のご挨拶に代えて

～理事長 八幡茂子～



新たな年を迎え、みな様いかがお過ごしでしょうか。なかなか会えなかったご家族や、親しい人と年越しされた方も多いのでは？私は自宅と両親宅を往復しながら、98歳の父のことを書き留めたいと思いました。少し、お付き合いください。

私「事故とかなかった？」父「自分が整備した機は」絶対大丈夫ー 私「スゴイ！」父「そう思って整備していた。仕事ってそういうものだろう？」と聞き、ハッとする私。

12月8日の太平洋戦争開戦当日はフィリピンに向かう洋上1942年の正月をミンダナオ島で迎え、その後セレベス島、翌年にはラバウル、トラック島など南方の激戦地をくぐり抜け、1945年、終戦と知らずに8月15日を迎えたのはルソン島の山中、22歳の時でした。飢餓との戦い、10月中旬に米軍に投降するまで草の根、芋の葉が主食の極限生活の話も、少し聞いたことがあります。


捕虜収容生活を経て11月に帰国の途に。鹿児島加治木港で上陸、翌朝には米軍から借りた毛

### 編集後記

ゆいまあるでの9か月を振り返るに、常に各事業部からの要請を受け、スタッフの確保に追われた一年だったと痛感します。私たちの介護業界だけではなく、恐らく保育などの福祉現場でも同様に、事業の維持継続に向け職員体制確保のための苦闘があることに、行政の方たちの想像力は及んでいないと思います。本号で紹介した新制度が少しでも求職者にアピールできることを願っています。

全体的に新年号らしくない記事ばかりとなってしまいました。が、ポリフォニーの4人の若者が、紙面に季節感を理事長に若さを注入してくれました(山)



正会員 97名	賛助会員 43名	利用者 493名 (2021年11月末日現在)
特定非営利活動法人地域ケアネットワークゆいまある 〒203-0023 東久留米市南沢 2-13-11 Tel : 042-479-5772 / Fax : 042-479-2337 ホームページ : <a href="https://www.yuimaru.jp/">https://www.yuimaru.jp/</a>		
		発行責任者: 理事長 八幡 茂子

布を返さなければ、でも故郷までの長旅、どうやって寒さをしのぐ？宿泊所での夜、必死の機転で安全カミソリで毛布を半分切って自分の体に巻き付けて隠し、残り半分を返したという。栄養失調の身体で北海道まで帰る車中、隣り合わせた親子連れの方が声をかけてくれ、そのお宅に「晩お世話になり、温かいご飯と布団でやっとな心地

その恩人の話を聴き、父が話せるうちに色々訊いておきたい。少しずつ記録し、子や孫達にはこんな辛い思いはさせたくはないという父の思いを伝えたいと、大阪で暮らしていた両親に「近くに来て」と手紙を書いたのは6年前のこと。今年も、新年のゆつたりした時間の中で、父や母の物語にもっと耳を傾けたい。

みな様も「今のうちに」ご親族から聴ける話を聴き、記録されてはいいでしょうか？ぜひ、この「ゆいまある通信」に投稿を、お待ちしております。本年もどうぞよろしくお願いたします。